

新年号

酪農

とちぎ

迎春



初春の那須連山

明けまして  
おめでと〜ございます

組合員の皆様には新たな  
希望と決意のもとに、家族  
お揃いで新年をお迎えられ  
たこととお慶び申し上げま  
す。

「酪農とちぎ」も発足二  
年目を迎え、組合員の飛躍  
とご発展を祈りつつ精進い  
たしますのでよろしくお願  
い申し上げます。

平成十四年 元旦



# 年頭のあいさつ

栃木県知事 **福田 昭夫**



酪農とちぎ農業協同組合の皆様、あけましておめでとうございます。早いもので、多くの県民の皆様の御支援により、新しい世紀の第一歩を踏み出す大きな節目の時に知事となって一年余が経過いたしました。

この間、21世紀初頭の県政経営の指針となる「とちぎ21世紀プラン」を策定し、「とちぎから創る21世紀の日本」という気概を持って県政を進めてまいりました。

その結果、県民の皆様のご理解と御協力により、思川開発事業等の懸案に一定の方向性を打ち出すことができました。今年就任二

年目を迎え、プランの目標達成に向けた道筋を確たるものにしていかなければならないと、思い新たに新年を迎えたところであります。

さて、現在は、IT関連産業の業務悪化等世界経済が減速に向かい、加えて、昨年の米国同時多発テロ事件の発生、国内では牛海綿状脳症等の影響も受けて、経済の先行きに対する一層の不安、不透明感が強まっております。

一方、21世紀は、少子高齢化や社会経済のグローバル化、高度情報化の進展、さらには地球規模での環境との共生の模索など、私たちが将来の世代が共有すべき課題が顕在化しており、これまでの社会・経済のシステムや私たちの意識の大きな転換が求められています。

私は、このような時であればこそ、未来を見通す確かな目と困難

に立ち向かう熱意をもって200万県民と力を合わせ新しい時代の基礎を築いていかなければならないものと考えております。

このため、県政の中期的ビジョン「とちぎ将来構想(仮称)」を策定し、従来の手法や枠組みにとらわれることなく斬新な知見と勇気を持って、新たな時代の布石となり得る政策づくりを進めて参りたいと考えております。

そのような中、組合長さんを始め先見の明を持つ酪農家の方々は、力を合わせて数々の苦難を乗り越え、昨年八月に全国最大規模の「酪農とちぎ農業協同組合」という金字塔を築かれました。現在、期せずして牛海綿状脳症という難題が発生しておりますが、今こそ大団結の力が発揮できるものと確信しております。

県といたしましても「牛海綿状脳症防疫対策本部」を設置し、全力を上げてこの対策に取り組みしております。本年も、酪農とちぎ農業協同組合及び酪農家の経営安定のための対策を積極的に推進して

参りますので御理解と御協力をお願いいたします。

21世紀は本格的な地方分権の時代です。本県独自の施策形成は勿論のこと、情報公開の徹底による公正性や透明性の確保、地域の声を率直に聞く県民主体・市町村重視の政策推進、将来を見据えた健全な財政運営など、不断の改革を押し進め、知恵と工夫の発揮による自立した県政を確立して参りたいと考えております。

私は、年の始めに当たり、県民一人ひとりが自立し豊かに暮らし、譲り合い支え合う心を持って生きる栃木県、すなわち「分度推譲立県とちぎ」をつくりあげて参りたいとの思いを強くしております。こうした取組の積み重ねが、夢と希望を託せる明日の「とちぎ」の創造に繋がるものと確信しております。

平成14年が酪農とちぎ農業協同組合の皆様にとって幸多き素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。





# 新年のあいさつ

代表理事組合長 **前田 忠利**



平成十四年の輝かしい新春を皆様と共に迎える事が出来ました。心からお喜び申し上げます。

当組合も発足して五ヶ月が経過いたしました。被合併六組合のそれぞれの事業取組みから、合併農協の決めに基づく業務に変更になりましたが、組合員各位のご理解を戴き混乱なく業務を進める事が出来ました。ご協力にお礼申し上げます。

BSE（牛海綿状脳症）が千葉県、北海道、群馬県と三頭発症し、牛肉・肥育素牛が大暴落となりま

して、経産肥育牛も処理経費・運賃を計算すると枝肉代金だけでは経費を精算できず赤字の有り様です。BSE発症の原因の究明と風評被害の払拭、経産牛の出荷制限や病畜牛の受入拒否に対する対策、焼却施設の整備、疑似患畜決定基準の見直し、BSE発生農家の百%経営再建が可能な諸々の対策及び制度の確立、これ等を酪農の関東ブロックの組織、全国の組織を通して国に要請いたして居ります。又現場の声として直接国、県に、国会議員の先生に酪農とちぎ農協の実情をお話し申し上げ、お願いを致しています。

合併して被合併六組合の既存施設を県南・宇都宮・那須高原の三支所で活用して業務を行っていきます。今後の組織整備を進めて行く

に当り、より合理化、効率化を図る為の施設の統合整備は不可欠な課題であります。集送乳の合理化、生産資材の供給システム、各事業所統合整備による職員の業務執行体制の合理化等に就いて、既存の事業形態にとらわれる事なく、新たな視点に立って検討を行う事が必要であります。各支所毎に常勤、非常勤役員、地域酪農組合役員、青年部、女性会の役員で構成する地域合理化委員会を立ち上げ検討協議を始めました。充分なる協議を重ねて纏めて戴く事をお願い致しました。其の纏めを基にして手順を踏んで平成十四年度の計画、中期計画として実行に移して参りたいと存じます。組合員ご家族の皆様が一堂に会しての催しに就いては、本年四月始めに乳牛共進会と同時に組合員の皆様が親睦交流を深められる様な、更に消費者とのふれあいの場を併せ持つ酪農祭りを考えています。又支所毎に親睦を図れる催しを、それぞれ支所

毎に考えて戴き、実施したいと思っております。

地域酪農組合も九地域で発足され、青年部・女性会も発足いたしました。今後の事業活動を実施される中で酪農とちぎ組合の計画、事業実績報告等の機会を持って戴き、ご意見をおきかせ戴きたいと存じます。

酪農は難かしい情勢下にありますが、新たな年を迎え一層心を引締め所期目的達成に向け努力して参りたいと存じます。

関係機関のご指導と組合員各位のご協力をお願い申し上げます。挨拶いたします。



# 越井副組合長に黄綬褒章

## 関係者九十名が祝う



越井光男代表理事副組合長の黄綬褒章受章祝賀会が十二月十八日、県酪連・県畜産協会・酪農とちぎ共催により、宇都宮市内ホテルに関係者九十名が参加して盛大に開かれました。

祝賀会は、前田忠利酪農とちぎ組合長の発起人代表挨拶に始まり、菊池一郎同副組合長から功績披露、花塚功先県農務部長、上野千里全酪連会長が祝辞を述べられました。続いて、和田恭三県酪連会長から記念品が、粕谷副組合長から花束が贈られ、越井副組合長より、

「今回の受章は、県を始めとする関係機関及び多くの皆さんのご教示の賜と感謝申し上げます。これからも、今日まで培った経験と歩みを糧に精進したい」と力強い謝辞がありました。

このあと、青木知義県畜産協会専務の乾杯の発声で祝宴となりました。同副組合長は、昭和二十年に就農以来、耕種農業を営みながら酪農業の将来性を展望され、四十五年より耕種農業と酪農業の複合経営を導入し、逐年に亘り規模拡大を確立され、現在は五十余頭を家族と共に営み生涯現役として活躍されております。

地域においては、豊かな知識と積極的な指導力により、乳用牛の資質改良・自給飼料の生産・生乳

の品質向上と共販体制の確立等、地元大田市酪農の先駆者として、また、昭和六十二年に旧栃木県北部酪農業協同組合の理事に就任、のちに常務理事、平成四年より組合長として組合発展に尽力されました。



県中央におきましては、現在も県酪連副会長としてヘルパー制度の確立・関東生乳販連合会の設立・県内酪農協の合併に際しましても、卓越した先見性と行動力を駆使され、本県酪農振興と組織の構築に大きな功績を収められました。また、社団法人栃木県畜産協会

の監事、栃木県畜産会館の理事として組織の強化、指導体制の整備を推進され、本県の畜産発展に尽くされました。

なお、昭和三十四年からは地元の消防団員を拝命以来、一貫して地域の消防業務に尽力され副団長を歴任、昭和六十三年には団長に就任され、消防団の指揮監督として大きく貢献されました。

先年は、産業功労として県知事表彰を受けられましたが、このたびは酪農・畜産の振興と発展に多大な貢献された功績により、受章の栄に輝かれました。

心より功績を讃え申し上げます。





## 「酪農とちぎ」青年部設立さる

かねてより三支所が中心となり青年部設立に向け準備を進めてまいりましたが、十二月十一日に設立総会を開催し、満場一致、酪農とちぎ青年部を発足致しました。

初代部長には、設立準備委員長（塩原・西那須野支部長）の渡辺透さんが選ばれ、今後の行事日程や活動方針等が承認決定され、次の方々が役員に選任されました。

また、当日は来賓挨拶として越井副組合長から最近の酪農情勢報告があり、特にBSE発症に対する支援策や青年部活動による経営改善や組織活性化等、若い情熱に期待する祝辞が述べられました。

部長 渡辺 透（塩原・西那須野）  
 副部長 植木 茂（宇河・今市）



副部長 高山多実男（河内・下都賀）

会計 八木沢洋次（那須）

監事 桧山 正人（那須南）

〃 鷲谷 英一（芳賀）

委員 大田原 毅（黒磯）

〃 相馬 健造（大田原）

〃 青木 憲男（塩谷）

## 女性の地位向上を目的に 酪農とちぎ女性会発足する

十二月十九日、ふれあい牧場において各地域女性会の役員が集まり、支部活動の連携・協調により、会員相互の親睦を深め、平和で豊かな生活を目指すと共に地域酪農の振興を図るため女性会活動を実践する事業方針を採択し、女性会を立ち上げた。

来賓挨拶を兼ね越井副組合長は、景気の低迷やBSE発生等の影響で畜産物価格が下落し、厳しい酪農情勢報告を述べ、酪農経営において女性の果たす役割は非常に大きい、苦しい時こそ明るさを失わず力を合わせ前向きに難局を乗り越えようと訴えた。

なお、次ぎの方々が初代役員に選任されました。今後の実践活動が期待されます。



会長 今 克枝（那須）

副会長 斉藤 芳子（塩谷）

副会長 藤沼 峰子（河内・下都賀）

会計 菊池 愛子（那須南）

監事 佐々木徳子（塩原・西那須野）

〃 小林 峰子（芳賀）

委員 月井 文子（黒磯）

〃 磯 礼子（大田原）

〃 金田 千明（宇都宮）





# 牛・人・自然との共生 酪農とちぎ 事業所紹介

## 21世紀への飛躍

### 本 所

#### 1 酪農とちぎ農業協同組合

〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地5-8  
(代表)TEL028-660-2211 FAX028-660-2129

(酪農部経済課) TEL028-660-2212  
(酪農部指導課) TEL028-660-2213  
(生乳販売部) TEL028-660-2214  
(市乳販売部) TEL028-660-2130

### 支 所

- 2 那須高原支所 〒325-0054 栃木県黒磯市朝日町4-36  
TEL0287-62-1540 FAX0287-62-1546
- 3 宇都宮支所 〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地5-8  
TEL028-660-2215 FAX028-660-2134
- 4 栃木県南支所 〒329-0524 栃木県河内郡上三川町大字多功字城の内1542-2  
TEL0285-53-0188 FAX0285-53-0198

### 事 業 所

- 5 西那須野事業所 〒329-2705 栃木県那須郡西那須野町南郷屋4-31  
TEL0287-36-0143 FAX0287-36-7504
- 6 五軒町事業所 〒329-2753 栃木県那須郡西那須野町五軒町5-34  
TEL0287-36-0133 FAX0287-37-5681
- 7 黒羽事業所 〒324-0401 栃木県那須郡湯津上村大字狭原山野1222  
TEL0287-54-0510 FAX0287-54-0631
- 8 烏山事業所 〒321-0626 栃木県那須郡烏山町初音11-10  
TEL0287-82-2325 FAX0287-84-1719
- 9 真岡事業所 〒321-4305 栃木県真岡市荒町3-47-7  
TEL0285-82-2262 FAX0285-84-7820
- 10 栃木事業所 〒329-4401 栃木県下都賀郡大平町牛久451  
TEL0282-22-3130 FAX0282-22-3140
- 11 ふれあい牧場 〒329-1213 栃木県塩谷郡高根沢町大字下柏崎541  
TEL028-676-1439 FAX028-676-2949
- 12 那須工場 〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地5-3  
TEL028-662-3414
- 13 那須高原配送センター 〒329-3221 栃木県那須郡那須町漆塚567  
TEL0287-72-0310 FAX0287-72-5823
- 14 高根沢配送センター 〒329-1213 栃木県塩谷郡高根沢町桑窪字町居1875  
TEL028-676-8155 FAX028-676-8156

### クーラーステーション

- 15 那須高原CS 〒329-3221 栃木県那須郡那須町漆塚567  
TEL0287-72-0300 FAX0287-72-5882
- 16 西那須野CS 〒329-2705 栃木県那須郡西那須野町南郷屋4-31  
TEL0287-36-0143 FAX0287-36-0594
- 17 宇都宮CS 〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地5-8  
TEL028-660-2216 FAX028-660-2134
- 18 栃木県南CS 〒329-0524 栃木県河内郡上三川町大字多功字城の内1542-2  
TEL0285-51-1911 FAX0285-53-0199

2 那須高原支所



6 五軒町事業所



1 酪農とちぎ本所 3 宇都宮支所



12 那須工場



9 真岡事業所



15 那須高原CS



13 那須高原配送センター



16 西那須野CS



5 西那須野事業所



11 ふれあい牧場



10 栃木事業所



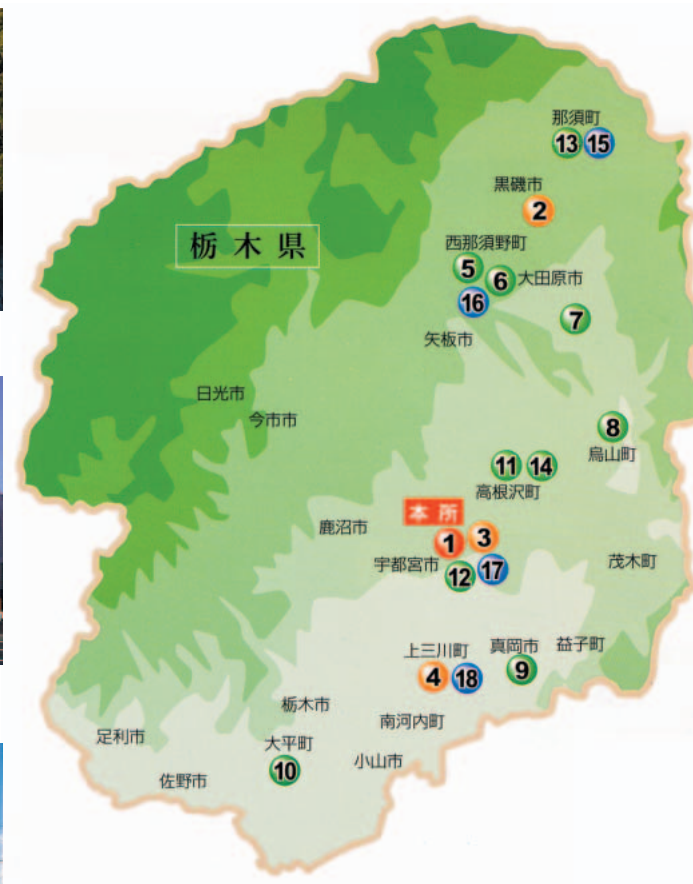
7 黒羽事業所



14 高根沢配送センター



8 烏山事業所



4 栃木県南支所





# 十一月度理事会

## 報告事項

- (一) 組合員の加入について
  - (二) 農業近代化資金の貸付について
  - (三) 総代の決定について
  - (四) 県酪連理事会について
  - (五) 生乳受託者会議について
- 協議事項
- (一) 八・九年度の業務実績について
  - (二) 役員報酬等審議会規程(案)

# 春夏秋冬



最近の生乳の需給動向を見ると、関東における十一月末までの生乳生産量は、前年比九七・〇%と少々減少傾向にあるが、飲用向けは九七・七%と、生産より〇・七ポイント上廻っている。このため加工向けは七四・二%と減少し、生乳の需要と供給の均衡は保たれており、好ましい状況となっている。

BSEの風評被害を、牛乳には

について

- (三) ふれあい牧場の農機具取得について
- (四) 平成十四年度事業計画(案)について

# 十二月度理事会

## 報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 生乳委託者会議について
- (三) BSEに関する要請について

絶対に及ぼしてはならない。あらゆる機会をとらえて、牛乳の安全性と、通常どおり売れていることをアピールし、消費者に不安の芽を出させないことが肝要であろう。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

年末恒例の、世相を表す「今年の漢字」で、上位は、戦・狂・乱の順であった。十二月十二日のテレビニュースでは、参拝客でにぎわう京都清水寺の奥の院で、今年一位の「戦」の文字が、墨痕鮮かに発表されたが、参拝客からの拍手はなかった。一位の「戦」は、

## 協議事項

- (一) 十月度の業務実績について
- (二) 諸規程の改訂について
- (三) 農業近代化資金の貸付について
- (四) BSE対応について

# お知らせ



◇ 個体識別の管理システムが始まる  
BSE緊急対策の一環として、すべての飼養牛に耳標を装着、全国データベースに登録し、常

言うまでもなく米国同時テロ事件の、テロ戦争を表わしているものであるが、二位の「狂」の文字は、BSEを表していると説明があった。

ちなみに、二〇〇〇年の一位は「金」で、これは五輪の金メダルを表わしたものであり、この時は参拝客から大きな拍手がわいたそうである。

二〇〇二年は大きな拍手がわくような漢字になることを願うものである。

# 編集後記

に全頭牛の所在確認ができるようなシステムになります。本来、このように国レベルの集中管理が望ましく、牛群検定事業への参加を奨めているところですが、今後は、このシステムに牛群検定情報が直結され、個体牛の生年月日・産次・能力等が簡単に知れるようなシステムづくりが望まれます。

耳標の装着作業は、各市町村単位に三月末日迄に全頭行われますのでよろしくご協力下さい。

◇ 「酪農とちぎ」が誕生して五ヶ月となる。右往左往の日々も過ぎし、新たな気持ちで新年を迎えることができ。皆さんの負託に応えるには、まだ難問山積あるが、外圧に屈せず英知を絞り邁進したい。

◇ 初夢は、干支の午にあやかく疾走する勇者であったが、現実には苦悩する自分自身に覚醒し、酪農界が追い風のうちに組合事業もすべて順調に進む一年でありますよう願を懸けお屠蘇を飲み潰す。